

大腸がん検診(便潜血検査二日法)注意事項

●2日間の便を容器に採り、便中に含まれる血液の有無を調べます。

この検査は、便が大腸内でがんやポリープなどと接触することによって生じた出血の有無を調べます。目には見えない、微量な出血でも感知できる検査です。

便のとり方

- ・採取していただく便の量は、少なすぎても多すぎてもいけません。青袋の中の「正しい便のとりかた」どおり、適量をとってください。
- ・便は提出日当日、前日、前々日の3日間の内から2回(2日間)採るようにしてください。
 - * 便の採取から4日以上経ったものは信頼性が失われますのでご承知おきください。
- ・生理中は避けてください。
- ・便を採った後は、冷蔵で保存してください。やむを得ず室温で保存する場合は、日の当たらない涼しい場所(25℃以下)に保管してください。

〈こんな場合は?〉

- ① 便秘がちで毎日とは通じがない
2回目の便通までに2~3日間隔があいてもやむを得ませんが、その場合、すでに便を採取した容器は冷蔵で保存してください。やむを得ず室温で保存する場合は、日の当たらない涼しい場所(25℃以下)に保管してください。
- ② どうしても1本もしくは2本とも採ることができなかった
採れた容器は健診当日提出してください。
採れなかった容器は、ご希望があれば期限を延長することができる場合がありますので、受付時にご提出ください。
- ③ 下痢気味
便をスティックでかき混ぜるようにして採取してください。
- ④ 生理中
生理中は検査できません。生理が終わった後、2~3日してから採取してください。
- ⑤ 痔
痔による出血があると陽性になります。痔の出血と大腸病変からの出血の区別はつきませんから、もしこの検査で精密検査が必要となった方は、痔からの出血と自己判断せずに、必ず精密検査を受けてください。

提出方法

- ・青袋の中には容器2本のみとし、説明書やナガセールは抜き出してください。